

助産学概論

ナンバリング:N3-S2-L01

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

助産学の基本理念を踏まえ、これまでの国内外の歴史の変遷や現代における助産師の役割を学ぶ。加えて、助産学の主な対象となる女性への支援に焦点をあて、おかれている社会的背景を考察しながら、現代における助産師の役割を理解する。具体的には、助産師が行うケアの理念、お産の歴史と文化、助産師教育の変遷、日本・世界の母子保健、助産実践の倫理、特別に支援を要する健康問題(不妊、ドメスティックバイオレンス等)および家族計画について学修する。
--

・教育成果(アウトカム)

助産師が行う助産実践に関する基本概念を学ぶことにより、現代における社会的課題を理解しながら助産師の役割を考察することができる。さらに女性の人権や実践場面で遭遇する主な倫理的課題についても述べることができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。
9	変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

・到達目標(SBO)

1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念に関する時事問題や関連する研究を読解し、看護の根拠を考える事ができる。 2. 多様な価値観・信条や生活背景を持つ女性への意思決定の支援方法を説明できる。 3. 母子保健の動向と母子が抱える社会的問題、母子の健康に関する政策について列挙できる。 4. 時代とともにお産を守り続けた地域の特性や社会資源をもとに妊娠、出産、育児の変遷を把握し、産育史を学ぶ助産師の意義を述べる事ができる。 5. わが国と諸外国の助産師教育の特徴について理解する。
--

・授業日程

【講義】

会場：東2E

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/22 火 1限	【授業内容】助産の概念(プレゼンテーション) ・助産師の定義とリプロダクティブヘルス/ライツについて説明できる ・リプロダクティブヘルス/ライツに関する時事問題を発表できる 【関連するSBO】1.2. 3 【事前学修:90分】リプロダクティブヘルス/ライツに関する時事問題を上げ、関心を持った理由と助産師として何かできることはないか考察する 【事後学修:120分】他の人のプレゼンテーションを聞き、事前学修に追加し考察を提出する(約400字以上 提出)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
4/25 金 4限	【授業内容】助産師の役割と責務(プレゼンテーション) ・助産師の業務と関連する法律を説明できる ・リプロダクティブヘルス/ライツに関する 時事問題を発表できる ・助産師のコア・コンピテンシーを説明できる 【関連するSBO】1.2. 3 【事前学修:60分】教科書P57図2-2 助産師のコア・コンピテンシーの図をノートに記入した上で、助産師のコア・コンピテンシー実践基準を熟読する 【事後学修:120分】本現時点で描いたキャリアパスについて記述する(約400字以上 提出)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

5/8 木 1限	【授業内容】女性の意思決定を支える助産ケアと倫理課題①(ディスカッション) ・マタニティケアに関する意思決定、ウィメンズヘルスに関する意思決定を説明できる ・事例をもとに、オタワ個人意思決定ガイドを用いて、ディスカッションできる 【関連するSBO】1.2. 3 【事前学修:120分】オタワ個人意思決定ガイドを参照しながら、指定した新聞記事を読む 【事後学修:90分】女性が意思決定する場面を想定し、自分の意思決定には何が影響を及ぼすか考察する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/26 月 3限	【授業内容】女性の意思決定を支える助産ケアと倫理課題②(ディスカッション) ・家族計画、人工妊娠中絶、女性への暴力など社会的課題について説明できる ・出生前診断にかかわる倫理的課題についてディスカッションできる 【関連するSBO】1.2. 3 【事前学修:90分】JFPA一般社団法人日本家族計画協会のHPの「女性の健康」避妊知識実力テストを行うと同時に、不明な言葉は調べて授業に臨む 【事後学修:120分】本日の講義を要約する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
6/5 木 5限	【授業内容】母子保健の動向① ・母子保健の変遷についてとわが国の母子保健の水準について説明できる ・おもな母子保健施策を子ども家庭庁の資料にあわせて読解できる 【関連するSBO】1.2. 3 【事前学修:90分】本講義内容に該当する「最近の母子保健を取り巻く状況」の関連資料を読む 【事後学修:120分】本日の講義を要約する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
6/13 金 3限	【授業内容】母子保健の動向②(ディスカッション) ・母子保健の歴史について理解できる ・母子健康手帳の変遷を理解し、母子健康手帳の必要性を述べる事ができる 【関連するSBO】1.2. 3 【事前学修:90分】母子健康手帳を全部読みながら、母子健康手帳の効果的な活用について自分の意見を述べられるように準備しておく 【事後学修:90分】多言語対応版の母子健康手帳を確認する。	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
6/30 月 3限	【授業内容】助産の文化論/わが国の助産習俗(ゲストスピーカー) ・助産の歴史と文化を理解し、助産師の役割にいて述べる事ができる ・助産習俗を知る事が助産師の役割にどのように関連するのか説明できる 【関連するSBO】2.3. 4 【事前学修:60分】教科書 助産の文化論を読む 【事後学修:180分】】本日の講義を聞いて感想や自分の考えを記述する(約400字 提出)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
7/3 木 4限	【授業内容】諸外国における助産師教育(ゲストスピーカー) ・日本と諸外国における助産師教育の違いを述べる事ができる 【関連するSBO】5 【事前学修:60分】国際助産師連盟(ICM)による助産実践に必須のコンピテンシーを読む 日本と諸外国の助産師教育の違いについて疑問をまとめてくる 【事後学修:240分】本日の講義を聞いて感想や自分の考えを記述する(約400字以上 提出)定期試験に備えて学修する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論 第6版	我部山キヨ子	医学書院	2022
参	WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア	分娩期ケアガイドライン翻訳チーム	医学書院	2021
参	最近の母子保健を取り巻く状況	こども家庭庁	子ども家庭庁	2024

・成績評価方法

【総括的評価】 事後課題の期限内の提出、内容(内容理解・論理的構成と考察力、表現・文字の正確さ)にて評価50%、定期試験50%
【形成的評価】 各回の事前課題の取り組み状況を確認しその場でフィードバックする

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

初回講義前には、参考資料「最近の母子保健を取り巻く状況」をWebClassからダウンロードしておくこと。
講義は携帯やPCなど検索できるツールを持参のこと。配布済みの母子健康手帳を各回持参する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師(別表2):基礎助産学
看護師(別表3):専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

医療機関ならびに英国で助産師勤務経験を有する助産師の教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う
産育史に造形の深い専門家から、多様な価値観や幅広い視野で実践的な教育を行う

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影